

のトイレは大丈夫?

おおじしん お じょうげすいどうかん こわ
大地震が起こると、上下水道管が壊れてしまい
すいせん しょう かのうせい
水洗トイレが使用できなくなる可能性があります。



そんな時の備えとして

ご家庭ではトイレパックの備蓄をお願いします。



トイレパックって何?

上下水道管が壊れて使用できなくなった水洗トイレの便器に、ビニール袋を被せて、大小の用を足すことが出来る様にするものです。トイレパックには、凝固剤で固めるタイプや 吸収シートを使うタイプ等、様々な種類があります。

凝固剤タイプの
使い方



色のついた
ビニール袋と
凝固剤のセットです。



ビニール袋を
便座の上から被せて
用を足した後に上から
凝固剤を振りかけます。



使用後は
燃やすごみに
出します。



トイレパックはどこで売っているの?

ホームセンター等で取り扱っています。



備蓄量の目安は?

ひとり 15個程度 (1日5個×3日分) の備蓄をしましょう。



よこはまし みじか しりつ しょうちゅうがっこうなど しんさいじひなんばしよ
 横浜市では、身近な市立の 小中学校等 を震災時避難場所に
 してい ちいきぼうさいきよてん ぼうさいびちくこ せっち ぼうさいしきざい
 指定し、地域防災拠点として防災備蓄庫の設置、防災資機材
 しょくりょうなど
 ・ 食料等 の備蓄をしています。

地域防災拠点のトイレ対策

さいがいよう かせつ と しきおよ げすいちよつしき
 地域防災拠点では災害用トイレとして、「仮設トイレ（くみ取り式及び下水直結式）」「トイレパック」
 かんい
 「簡易トイレ便座」を備蓄しています。

くみ取り式仮設トイレ



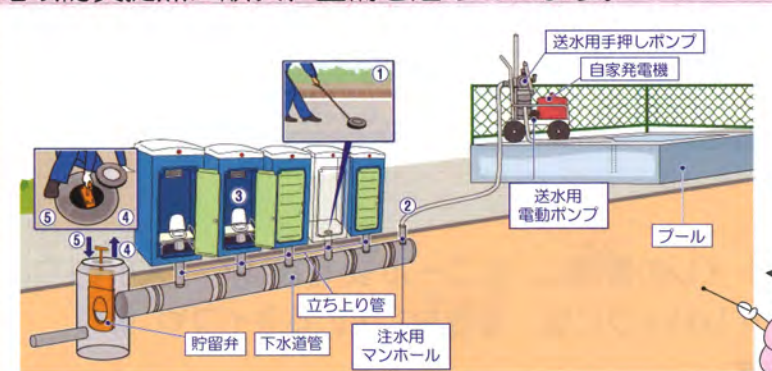
しゃしん
 写真のような
 かくきよてん
 トイレが、各拠点に
 あ 合わせて2基、備蓄
 されています。



よこはましぼうさいけいかく
 横浜市防災計画では
 ほくぶじむしょ ほんさい かめ
 北部事務所が発災2日目から
 おこな
 くみ取りを行う計画に
 なっています。

下水直結式仮設トイレ

じゆんじ せいび すず
 地域防災拠点に順次、整備を進めています。



せんよう げすいかん
 専用の下水管に
 みず すいどうすい
 プールの水や水道水を
 た 貯めて使用します。
 やく にん
 約500人使用したら
 ちよりゆうべん はいすい
 貯留弁をあげ排水して
 りただ
 再び水を貯めて
 使用します。

トイレパック・簡易トイレ便座



各拠点に
 5000セット
 備蓄されて
 います。



簡易トイレ便座は
 わしきべんき
 和式便器でトイレパックを
 りよう とぎ
 利用する時に使います。
 各拠点に6基
 備蓄されています。

横浜市資源循環局 北部事務所では、防災訓練などの機会を通じて
 災害用トイレの使用方法やトイレパックの使い方について説明会
 を行っています。詳しくは、下記問い合わせ先までお願いします。

横浜市資源循環局 北部事務所

横浜市旭区上白根3-38-2
 TEL045-953-0941
 FAX045-953-0942



北部事務所キャラクター
 「トイレくん」

